



## ご卒業おめでとう！ ～ 3月19日（水）58名の卒業生の巣立ちの日 ～

【学校長式辞を一部抜粋】 松組は「花いっぱいの屋代小」が目標でした。固い地面を掘り起こして始まった玄関前の花壇作り、通学路に花のプランターを並べ、ペットボトルを持っての水やり登校、校内に据えられた藁細工を生かした花入れにはいつも一厘・二厘の花が飾られていました。松組の皆さんは「花作り」を通して、人や物を大切に作る、優しくて柔らかな心を育んできました。

竹組は「影絵」がメインテーマでした。全校への招待発表が終わった後、次のような感想を書いた人がいます。「影絵を上手に作るには、いくら仲が良くても悪くても、協力する事がとても大事なことです。相手に伝わらなくては意味がないので、周りの人の感想も聞きなくてはよりよいものができるということ学びました」とありました。一つの事をみんなでやり遂げる・・・その時もっとも大切なことは「協力する心と相手の立場に立つ」ということを学んだのでした。その根底にあるものは、人を思いやる温かな心です。竹組の皆さんは、影絵作りを通してこの温かな心を育んできました。

こうして、学級がそれぞれのテーマを持ち、その実現に全員で協力して取り組む姿があったからこそ、学年もまた大きな家族としてまとまりました。この大家族のまとまりは、やがて運動会や音楽会で花開いたように思います。

このように、できる事を精一杯、本気になって取り組み、下級生を導いてくれた6年生に心からの感謝をし、卒業を祝いたいと思います。

卒業生の未来が希望に満ちた輝かしいものになることをお祈りして式辞といたします。

### ご退職・ご転任される先生方のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます

担任等	氏名	転任校	担任等	氏名	転任校
校長	臼井裕之先生	退職	理科	堀内一彦先生	五加小学校
1年竹組	浅井かよ子先生	小川小学校(教頭)	音楽科	太田仁子先生	上田第五中学校
3年梅組	西山千恵先生	通明小学校	庁務	石井誠先生	退職
さくら組	松下みどり先生	小諸養護学校			

## 「笑顔とありがとう」の3学期をふりかえって ~3学期 終業式~3/18



《3学期を振り返って》2年生の尾崎芽衣さんは『スーホの白い馬』を気持ちをこめてよむことをがんばった」、松橋雅音さんは「最後の授業参観で、苦勞して作ったおかしや、練習してきた劇を、お家の方がよろこんでくれた」、内山温大さんは「お母さんの言うことをきいて、あきらめないでがんばったら、九九がす

らすら言えるようになった」、4年生の高山葵衣さんは「プール学習最後の日、先生と4松みんなの応援のおかげで、25mをクロールではじめて泳ぎことができた」、篠崎泰成さんは「この1年、委員会の当番活動を忘れずにできたので、5年生になってもしっかりとやりたい」などががんばってきたことを発表してくれました。

《校長先生のお話》三学期の目標は、「笑顔とありがとう」の三学期になるようにしようと話しました。雪の日を見ただけでも、三学期は「ありがとう」がたくさんあったなあと思います。ありがとうといわれると、自然に笑顔になります。校長先生は「ありがとうと笑顔は友達だなあ」と思いました。でも、こんな悲しい「ありがとう」もあるんだなと思いました。ある小学校の3年生の作文です。

題名は・天国のママが「ありがとう」って

私がしている毎日のお手伝いは、「仏壇のママの水汲み」と「箸ならべ」です。私は、お手伝いするとき、「笑顔」を忘れずにやるようにしています。私のママは「ガン」で死んでしまい天国にいます。今家にいるのは「私とパパ」だけです。パパ一人で全部をやるのは大変なので、私もお手伝いをするようになったのです。私はお手伝いをしていると、ママが「ありがとう」や「がんばって」「ごころうさま」と嬉しい言葉を言ってくれているような気持ちになります。だから私はお手伝いが大好きです。でも、お手伝いをしていると、ママが死んでしまった悲しい気持ちがふくらんできます。それでも私はこれからもお手伝いを続けていきたいなあと思っています。やっぱりママに「ありがとう」って言ってもらいたいからです。

悲しいありがとうだけれど、天国で「ありがとう」「ありがとう」「がんばれ」「がんばれ」と言っているお母さんの声が聞こえるような気がします。

いろんな「ありがとう」が三学期はありました。今日は学校の最後の日です。教室の机やイスにもありがとう。靴箱にもありがとう・・・そんな気持ちで最後のお掃除をして欲しいなあと思います。そして一番大事な事。先生ありがとう、お母さんお父さんありがとう、友だちにありがとう。今日みんなにありがとうって言って、明日の卒業式を迎えて欲しいと思います。【一部抜粋】